

連盟あきた

■発行所 秋田県看護連盟
TEL 018-867-7474
FAX 018-867-7477
■責任者 草薨 真子



第26回参议院議員通常選挙

ともものう りお 友納理緒 氏

ご当選おめでとうございます



新型コロナウイルスの感染の再拡大が続くなか、日々医療の最前線で尽力されている皆さまに心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

この度、第26回参议院議員通常選挙にあたり、秋田県看護連盟の皆さまから多大なるご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。皆さまのおかげで当選を果たすことができました。いただきました「17万4335票」という大切な票の1票1票の重みを日々実感しております。

今回の選挙では、「看護の明日をつくる」「看護をまもることは、いのちと生活をまもること」をスローガンにさまざまな政策の必要性を訴えてまいりました。人員配置や働き方、処遇、子育てとの両立など看護職の働く環境を整えることは、決して看護職だけの問題にとどまるものではなく、安全かつ充実した医療・看護の提供につながるものです。助産師外来や院内助産の推進、保健師の増員、訪問看護の充実など看護に関する制度を整えることは、すべての世代の皆さまが穏やかに社会で生活するために欠かせないものです。選挙期間中、連盟の皆さまと一緒にこれらを訴えることで、日々少しずつ看護職だけでなく一般の方にも支援の輪が広がっていったように感じています。

看護にとってこれからの6年はとても重要な6年間となります。看護職の視点から気づいたことを、弁護士の観点から分析し解決していくこと、これが立法府における私の役割です。皆さまの力でスタートラインに立たせていただきましたので、訴えた政策を、現場の課題を、共有させていただきながら、法律や制度の見直しに義務感と責任感を持って取り組んでいきます。

令和4年7月26日より参议院議員としての活動が始まりました。看護連盟、看護協会の皆さまとともに歩む6年間とさせていただきます。

どうぞ今後ともより一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



目次

- 秋田県看護連盟会長挨拶・・・ 2
- 秋田県看護協会会長挨拶・・・ 2
- 看護職国会議員挨拶…………… 3
- 第26回参议院選挙活動…………… 4
- 令和4年度通常総会…………… 5
- 令和4年度事業計画…………… 6
- 令和4年度研修計画・予算… 8
- 新旧役員・支部長挨拶…………… 9
- 都道府県別会議…………… 10
- 県役員・支部長・青年部研修会…………… 10
- 看護管理者研修会…………… 11
- 現場の声届けました…………… 12

第26回参議院議員選挙を終えて

秋田県看護連盟 会長 草薨 真子



爽秋の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より連盟活動へのご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県内では新型コロナウイルス感染症の第7波による感染拡大が続いている中、医療現場は極めて厳しい状況にあります。その現場でそれぞれの立場でご活躍されている皆さまには、心から敬意と感謝の意を表したいと思ひます。皆さまからいただいたご意見は要望書として県政へ届けました。詳細は最終ページでご報告いたします。

さて、この夏の第26回参議院選挙においては、看護職組織代表「友納りお」氏が正式に決定された後、わずか4か月余りの短期間の選挙戦でした。「新人候補」「短期間の選挙活動」「コロナ禍の活動」というリスクを負うことになりましたが、看護協会と共に、看護職が一丸となって候補者を何としても国会へ送らなければならないとの強い思いで戦った選挙戦でした。その結果174,335票、秋田県では3,010票で、見事「友納りお」氏を国会に送り出すことができました。これだけの得票数を得られたことは秋田県看護連盟活動として誇れる結果と思っております。この場をお借りして、ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

秋田県看護連盟は、これからも「現場の声」を吸い上げ、現場にある声を、国政、県政に届け解決に向け活動してまいります。今後ともご理解とご支援よろしくお願ひいたします。

看護政策の実現と1票の重み

公益社団法人 秋田県看護協会

会長 白川 秀子



日頃より秋田県看護協会の活動にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

8月の大雨で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、終息が見えないコロナ禍の中、地域医療を支えて頂いている看護職の皆様にも、あらためて敬意を表し感謝申し上げます。

今年の夏は記録的な猛暑の中、参院選がありました。友納理緒さんの当選を果たすことができ嬉しく思ひます。組織内代表に決定してからほんの数か月で新人候補を

当選に導く

ことが出来たのは、全国の看護職が一丸となって行動できた結果であり、看護の底力と熱気を感じました。今後は、二児の母である友納議員が看護職の代表として国政で活躍し、看護政策実現にご尽力くださることに期待するとともに、看護職として見守りたいと思ひます。

現場の課題は、現場だけで解決できるものばかりではありません。政治的手段で解決しなければならない課題が山積しています。今後も看護政策実現に向けて連盟と協会は同じ方向を向き、それぞれの役割を果たしていきたいと思ひます。

看護連盟入会のご案内

会員の皆さまが看護連盟の力です。あなたの入会が活動を支えます。

“現場の声を国政に届けましょう” “仲間の輪を広げましょう”

会費	日本看護連盟会費	5,000円(年間)	*賛助会員は1口1,000円(年間) [何口でも可]
	秋田県看護連盟会費	3,000円(年間)	
	計	8,000円(年間)	*学生会員は無料

[正会員は(+看護協会費)、特別会員は看護協会員でない方] [機関紙・広報誌・講演会案内します]

R4.8月末会員数 **正・特別会員2,381名** [目標2,600名] **賛助会員36名**(44口) [目標100名(200口)]

入会のお申込み、お問い合わせは 秋田県看護連盟 TEL 018-867-7474 Fax 018-867-7477

「看護を支えるために制度を変える」

衆議院議員 あべ 俊子



7月の第26回参議院選挙にて、ともものうりおさんがご当選されました。誠にありがとうございます。看護師はもちろん、弁護士としても、より安全な看護の職場の実現にご尽力いただけるものと存じます。ともものうりおさんのご当選にご支援くださいました看護連盟の皆さま方には、自民党国会議員としても御礼を申し上げます。

コロナ禍では、現場の看護師不足が顕著になりました。これは、看護師の絶対数が少ないというのではなく、医療制度の在り方、人員配置、地域医療への移行など、複数の要因が絡まったものです。一つ一つを解きほぐし、より良い看護を提供するための現場に変えていかなければなりません。

よい看護のために現場を変える、現場を変えるために制度を変える。その実現に向けて、看護系議員として、ともものうりおさんと一緒に努力してまいります。看護の基本は臨床にあり、いつの時も政策立案の基本は現場の声です。皆さまのお声をお聞かせください。

何事も緊張感・責任感を持って、真摯に！

衆議院議員 たかがい 恵美子



秋田県看護連盟の皆さま、日頃よりご支援を賜りまして誠にありがとうございます。また、緊張感の続くいのちの現場で、思いやり看護の尊い使命を尽くして下さっている皆様とご家族の皆様に、心より感謝を申し上げます。

猛暑が続いた参議院選挙におきまして、見事な成果を勝ち得ることができ安堵しております。看護連盟の思いを遂げる新たな政治活動のスタートに期待を膨らませております。

7月8日には、難病を抱え満身創痍であっても国家国民のため全身全霊を投じた安倍晋三元総理大臣がテロ事件の犠牲となり尊い生命を奪われました。ご生前のご功績を偲び衷心からご冥福をお祈りいたします。政治における精神的支柱とも言うべき偉大な存在をなくし、周囲がひととき空虚な喪失状態に陥っています。どんなときでも踏みとどまることなく前へ向かう在りし日の姿を胸に、思いやりと感謝の心で微力を投じてまいる所存です。

末筆ながら、秋田県看護連盟の更なるご発展と会員各位のご健勝を祈念申し上げます。

コロナ医療体制、特別から通常へ

参議院議員 石田 まさひろ



秋田県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス蔓延をはじめ、多くの困難があるにも関わらず医療の最前線に立ち続け、秋田県民の健康を守るために力を尽くす皆様に心より感謝と敬意を申し上げます。

コロナ蔓延前の社会活動へ戻ろうと、感染類型の見直し等が検討されています。しかし、医療現場ではスタッフ不足や、コロナの影響により休まざるを得ないスタッフが有給消化での対応を迫られたりする等、厳しい状況が続いています。社会が通常の活動を行うならば、医療も特別な対応ではなく通常の対応で済むように、並行して抜本的に体制を変えるべきです。このことについて、厚生労働委員会閉会中審査にて質問を行い、対応を求めました。政治は「現場」と共にあります。現場で起きていること、その声を引き続きお聞かせください。私も国会という現場で、看護職が「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力して参ります。

第26回参議院議員選挙活動

令和4年6月22日公示、7月10日投票が行われました。
 看護職の組織代表立候補者「ともいうりお」さんは、174,335票（秋田県3,010票）を獲得し当選を果たしました。
 比例区の自由民主党候補当選18人の中では11位（秋田県では3位）という結果でした。
 今回は、異例の短期決戦となった選挙戦でしたが、会員、役員、支部長の皆さまが一丸となって活動した結果と感謝申し上げます。
 会長 草薨 真子



4/18 選挙対策会議
 “楽しく正しい選挙運動をしましょう!!”

5/27選挙管理委員会へ
 要望書提出



6/23ともいうりお 個人演説会 ハイブリッド開催（秋田はオンライン参加）
 土田妙顧問を団長に応援エール（全国に配信されました）



【要望事項】

1. コロナ禍における投票機会の公平性を担保するため、期日前投票のできる場所（期日前投票所）の増設をお願いしたい。
 1-1) 大学等への増設の必要性
 1-2) 不在者投票指定施設の投票者拡大
2. 投票所業務における有権者への投票説明について、特に比例区選挙の正確な説明と、下記の文言の徹底を図りたい。
 「2枚目の投票用紙には候補者名か政党名を書いてください」



7/4看護問題対策議員連盟会長
 加藤勝信議員 当連盟事務所に来所

7/7医療関係団体連合会
 石井ひろお総決起大会



各支部 ともいうりおポスター
 工夫していっぱい貼りました



7/10秋田県選挙区
 石井ひろお議員 3期目当選



安倍元首相の銃撃事件により
 万歳はありません

2022年度 秋田県看護連盟通常総会 報告

秋田県看護連盟 幹事 **野村 優子**

令和4年度の「秋田県看護連盟通常総会」は3年ぶりに会場参加者がいる総会の開催に至りました。会場参加者63名、Zoomによるオンライン参加者14名、委任状2068名で総会は成立しました。初めてのハイブリッドでの開催でしたがZoom入室もスムーズに行うことができました。開会式では、一昨年から持ち越している秋田県看護連盟創立60周年記念表彰者6名の紹介をすることができました。

経過報告では、コロナ禍で思うような活動ができなかったという報告もありましたが、令和4年度の「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」をスローガンとして、ほか提出審議事項もすべて承認されました。

総会終了後には「第26回参議院議員選挙候補予定者〔友納りお氏〕の出馬表明挨拶がありました。自己紹介、出馬の決意、そして何がしたいのかなど、具体的に、熱く語られました。参加者の皆さんは初めてお目にかかる方がほとんどでした。『私たちは必ず看護の代表を国政に送り、友納りおさんには看護職のために活躍していただく』ことが実現するよう頑張りましょう。



2022年度 日本看護連盟通常総会 報告

秋田県看護連盟 監事 **斎藤 みすず**

2022年5月25日（水）ザ・プリンス パークタワー東京を会場に、会場出席130名とオンライン・委任状421名のハイブリッド形式で開催された。大島敏子会長挨拶では、コロナ禍での看護職の仕事ぶりにより11月の第206回特別国会で看護職の給与が引き上げられることになったが、すべての看護職に行き届く施策とはいえない。また、2022年2月25日総会で第26回参議院議員選挙の職能代表として友納理緒氏が正式に決ったとの報告があった。2021年度の事業報告後「木村やよい氏の落選について連盟の見解」を問う意見があったが、時間がないという理由で執行部の回答はなされなかった。その他報告は質疑ないまま承認となった。2022年度会長を始めとする新任役員について大島会長より「誰でもいいというものではないので、じっくり考えたい。そのため、後日臨時総会を開催する」との報告であった。

引き続き「とものうりお総決起大会」が開催され、安部晋三元首相、加藤勝信元厚生労働大臣、遠藤利明自民党選挙対策委員長等が駆けつけ友納氏への応援と看護職へのねぎらいのこたばを述べられた。



令和4年度 秋田県看護連盟事業計画

重点方針 みえる活動、行動する会員、確かな組織づくり
(次の参議院選挙の看護の代表候補予定者を当選させる)

目的	目 標	方 針	活 動	
政治力・政策実現力の強化	1.看護職国会議員の選出	1) 第26回参議院議員選挙における組織内候補予定者の当選	①組織内候補者の講演活動を展開する ②県別会議を通して、県、支部の戦略を確立させる ③選挙マニュアルに沿い、コンプライアンスに基づいた後援活動など、安全で統一した行動を行う	
		2) 看護職国会議員の確保	①看護職国会議員の名前及び活動状況を周知する ②岡山県看護連盟、島根県看護連盟の支援を強化する ③広報誌・ホームページ・活動報告・議員からの情報提供のメール配信等により各議員の活動を周知する	
		3) 公職選挙法の遵守	①役員研修会にて「参議院選挙実践の手引き」を活用してコンプライアンスに基づいた安全な活動について学び、実践する	
	2.看護政策の実現	1) 政策実現力の強化	①県選出国会議員の政策説明会等に参加し連携を密にする ②「秋田県の看護を守る議員連盟」との会議を行い連携を強化する ③看護管理者等政策セミナーを通して政策提言力を強化する	
		2) 現場の声の把握と改善	①「現場の声」プロジェクトを継続し、現場の声を集約し、看護協会と協働し行政・議員へ働きかける ②現場における課題を明確にし解決に向けて対応する	
		3) 新型コロナウイルス感染対策・政策の推進	①感染対策に関する現状把握を行い、地方議会・地方行政・看護職国会議員への要望活動を行う	
	3.看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県選出国会議員との連携強化	①県選出参議院議員候補者の支援 ②看護連盟を支援している国会議員の交流の場を持ち、連携を強化する ③看護政策に理解を示す国会議員に看護政策をアピールする	
	4.地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 「秋田県の看護を守る議員連盟」との連携促進	①地方議員に看護政策の必要性をアピールする ②地方議員の「看護体験」を通じて、「現場の声」を要望につなげる行事（研修会等）を実施する	
		2) 地方議員との情報交換と活動支援	①地方議員との交流の場をもうけ、連盟に対する理解を深める	
		3) 地方議会・行政との情報交換	①議会本会議や委員会を傍聴し、地方行政の看護政策に関する情報を積極的に入手する ②看護政策実現のために地方行政へ要望書を提出する	
	5.地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘と育成	①県議、市議等へ立候補者の支援を行う ②秋田県政治団体が実施している、若手育成プログラム等に参加する	
		2) 地方議員との連携強化	①地方議員の活動に積極的に参加する	
	組織の強化・拡大	1.会員数の増加	1) 令和4年度の会員目標数の設定	①県看護協会会員数の秋田県看護連盟への入会率39%を目指す ②連盟会員数の目標数を2,600名とする
			2) 看護協会・看護連盟同時入会促進	①新採用者オリエンテーション、基礎研修などで入会を促す ②看護協会役員の連盟加入100%を働きかける
			3) 看護連盟入会の促進と退会防止	①看護教育機関の教員へ入会を働きかける ②医療機関外で働く看護職・潜在看護職への定期的訪問による入会推進 ③看護協会会員数の多い施設を看護協会長と同行訪問し入会を働きかける ④定年退職者に「継続入会説明用紙」を活用し継続加入を働きかける ⑤復職者（産休・育休・病休等）に再入会を働きかける ⑥個人会員への情報提供を強化する（ミニアンフィニ、会長メッセージ等）
4) OB支部の設立に向けた活動と支援			①県内3カ所で「OBセミナー」を開催し、OB同士の連携を強化する	
5) 若手層、学生会員の確保			①若手研修会に学生の参加を促し入会を働きかける ②看護学生説明会(出前ポリナビ)を開催し学生会員の入会を働きかける	

組織の強化・拡大	2.広報活動の強化・充実	1) インターネットを活用した有効な情報発信による連盟活動の周知徹底	①県広報誌「連盟あきた」を年2回発行する ②ホームページを毎月更新し、タイムリーな情報提供を継続する ③ミニアンフィニ・国会議員からの情報等は、適宜施設看護管理者へメール配信し幅広く会員に情報提供する ④議員からの情報（動画・画像）をタイムリーに配信する
		2) 選挙活動に有効なインターネット広報の構築	①インターネット選挙に向けての方策を学び、青年部委員を中心にした広報体制を作る ②効果的なSNSの活用に向けて学ぶ機会を設ける ③看護職国会議員のSNS認知度を高め、フォロー一数を上げる ④役員・支部長・施設代表者等は候補者や看護職国会議員のSNS等を登録し情報を拡散する
	3.組織の適正な運営管理	1) 秋田県看護連盟規約等に基づいた効率的な運営	①「秋田県看護連盟活動マニュアル」を活用し役割遂行に努める ②組織運営のための規約・申し合わせ事項等を適宜見直し、安定的な運営に努める ③集合・リモート等開催方法を選択しながら円滑かつ効率的な会議運営を行う
		2) 財政の健全化と適正化	①費用対効果を見極め、経費節減に努める
	4.看護協会及びその他の関係団体との連携・協働	1) 秋田県看護協会との連携	①県看護協会役員との合同会議を開催し、有機的な連携・協働の在り方を検討する ②看護協会の認定管理者研修の「看護と政策」の講義を継続する ③県看護協会総会・看護連盟総会に協会長、連盟会長が相互に参加する
		2) 医療関係団体・介護関係団体等の支援団体との連携	①各支援団体との交流の機会を持つ
		3) 看護教育機関との交流促進	①看護教育機関を訪問し、連盟の広報活動を行う ②「看護教育者懇談会」を開催し情報交換・共有を図る
	5.県及び支部組織活動の強化・促進	1) 自律した会員の育成	①連盟会員に対し活動の理解を深め、行動につながる効果的・効率的な研修会をハイブリッド方式も検討し開催する ②感染対策を考慮し、新基礎研修資料・看護職国会議員のビデオメッセージ・国政報告等を活用した研修にする
2) 支部組織の強化		①支部毎にOB会員を帯同した「アンバサダー訪問」を実施し、機関誌とグッズを活用した連盟活動を行う ②県の特性を活かした会員確保方針・選挙戦略を明確にして県別会議に臨む ③各級選挙に積極的に参加する	
3) 各支部会員のモチベーションの強化		①会員・非会員が参加しやすい支部研修を開催する ②看護職国会議員・地方議員との「医療・看護を語る会」を設け課題解決に向けた交流の場とする ③看護職国会議員のビデオメッセージを有効に活用する	
6.若手会員の育成	1) 若手会員の活用の促進	①役員・委員等に若手会員を積極的に登用する ②青年部委員は若手会員が政治活動参加の必要性を理解できる様な、効果的なワークショップを開催する ③新人向け基礎研修の講師や「出前ポリナビ」を青年部が積極的に実施する ④青年部委員会活動への支援を行う	
7.ブロック活動への協力	1) ブロック協議会の活性化	①ブロック協議会に10回/年、会長・幹事長会議に1回/年出席し情報交換を図る ②北海道開催の「ブロック看護管理者 看護教育者等政策セミナー」に参加し看護政策への連携を強化する ③青年部ブロックミーティングに参加し、ブロック青年部と情報共有し連携の強化を図る	
8.現場の課題への対応	1) 場の声等の意見・提言などの速やかな対応	①研修アンケートを活用し「現場の声」を集約し看護職議員他関係議員に届ける ②ホームページを活用し、問題解決に向けての対応について会員に周知する	
会員の福祉の充実	1.災害への対応	1) 災害発生地での被災状況の確認と支援	①被災地の現状を把握し国会議員、関係団体へ伝達・支援に協力する ②被災支部の看護連盟活動を支援する
	2.慶弔への対応	1) 規約に基づく対応	①災害見舞い、物故者への弔慰、叙勲等受章者への対応をする
	3.諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	①コンプライアンスに基づく政治活動・選挙運動のための情報交換を行う

令和4年度 秋田県看護連盟 事業・研修会 計画

研修名	日時	テーマ	講師	会場
秋田県通常総会	5月20日(金) 13:15～15:00	通常総会 報告・審議 ビデオメッセージ 友納理緒氏	終了	秋田キャッスル ホテル [ハイブリッド]
日本看護連盟 通常総会 総決起大会	5月25日(水) 13:00～15:00 15:10～16:30	草薙会長中央役員(幹事)執行部出席 秋田県代議員9名 [会場2・オンライン4・委任状3]	終了	ザ・プリンスパークタワー 東京 [ハイブリッド]
役員・支部長・ 青年部委員 研修会	6月1日(水) 13:00～15:00	1.楽しく活動しよう！ 2.連盟活動の理解を深めよう ～第26回参議院選挙戦略～ 3.選挙行動の推進に向けて ～青年部委員の役割～	草薙会長 松村幹事長 田中青年部委員長	秋田キャッスル ホテル [ハイブリッド]
看護管理者 研修会	9月10日(土) 13:00～15:00	「人生会議 Part II」 ～人生の最終段階における 医療とケア～	秋田県医師会副会長 伊藤 伸一氏	秋田キャッスル ホテル [ハイブリッド]
会員研修会	10月15日(土) 13:00～15:00	コロナ禍の看護の振り返り ～それぞれの立場から～ パネルディスカッション	パネラー ・感染管理認定看護師 ・看護管理者 ・コロナ病棟看護 ・看取りの看護	秋田キャッスル ホテル [ハイブリッド]
OBセミナー (支部共催)	県北 11/12(土) 県央 11/20(日) 県南 11/ 5(土)	「転ばぬ先の杖」 ～足裏健康法で転ばない日常生活を！～	インストラクター 畑澤 敦子氏	県北 県央 県南
リーダーセミナー I II	未定 1月 10:00～12:00 13:00～15:00	キャリア開発 講義 テーマ(未定) 演習 「自分を知る。見つめなおす。」	キャリアコンサルタント 堀 由記子氏 キャリアコン スタッフ	秋田キャッスル ホテル [集合]
ポリナビ ワークショップ (青年部主催)	12月18日(日) 13:00～16:00	青年局県議会議員の看護体験 県議とのディスカッション 質疑応答	未定	秋田キャッスル ホテル [ハイブリッド]
北海道北ブロック 看護管理者・ 看護教育者等 政策セミナー	10月21日(金) 14:00～18:45 22日(土) 10:00～14:15	1)看護管理者・看護教育者の政策・政治への関心を高める。 2)看護協会・連盟それぞれの役割を理解し組織強化に協力できる。 秋田県参加予定者(草薙会長、看護管理者2名、教育者1名、看護協会1名、 連盟役員1名)		札幌ガーデン パレス 北海道

令和4年度 秋田県看護連盟 予算

(収入の部)

項目	予算額	備考
I.会費	7,800,000	正会員3,000×2,600名
II.助成金	9,796,000	会費還元金 研修助成 支部運営助成 青年部運営助成 会員管理助成
III.受取配当金	120	預金利息
IV.広告料	100,000	広報誌広告掲載料
前年度繰越金	7,158,043	
総計	24,854,163	

(支出の部)

項目	予算額	備考
I.会議諸費	1,950,000	
総会費	700,000	秋田県看護連盟総会
役員会費	1,000,000	役員会議、支部長会議
委員会費	250,000	委員会費
II.事業費	9,900,000	
広報誌発行費	700,000	「連盟あきた」2回発行
組織対策費	6,000,000	日看連会議出席経費、 会員募集関係、監査経費
研修費	1,800,000	管理者、会員、リーダー
渉外費	50,000	慶弔関係
支部交付金	1,350,000	14支部活動助成
III.運営維持費	12,820,000	
人件費	7,100,000	給与、退職金積立
賃貸料	1,320,000	事務所家賃
需給費	4,400,000	通信費、リース料、HP管理
IV.予備費	184,163	
総計	24,854,163	

新任役員・支部長あいさつ

財政幹事 小林 裕子



看護師として40年以上の経験を持つ中、実は今が一番大変な時期かと感じる今日この頃です。コロナ禍でできること、やらなければならないことを厳選しながら、微力ではありますが幹事として皆様に助けを頂

きながら貢献したいと考えています。医療と地域を繋ぐ看護職の実態も発信していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

監事 安達 奈奈子



この度、監事を拝命いたしました。2011年から6年間、大仙・仙北支部長を務めました。5年ぶりに、今度は連盟活動の全体を見て監査していく役割です。

「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」の実現のために、役員・支部長の皆さんと共に、会員の皆様の処遇改善、地位向上のための活動を推進します。どうぞよろしくお願いいたします。

能代・山本第1支部長 鈴木 輝子



今年度から、能代・山本第1支部の支部長を務めさせて頂くことになりました。

看護連盟活動について不勉強のままの就任となり、他支部長や先輩支部長の皆様、看護連盟事務局の皆様には大変ご迷惑をおかけしていま

す。看護連盟の活動を理解し、現場スタッフへ連盟の活動を周知していきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

秋田・臨海第3支部長 菅原 まゆみ



この度秋田・臨海第3支部長を務めさせて頂くことになりました。

第26回参議院議員選挙の年にあたり、看護連盟が一丸となって取り組む行動力を実感したスタートとなりました。わからないことも多くあ

りますが連盟会員や役員、事務局のお力をお借りしながら役割を遂行していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

退任役員・支部長あいさつ

財政幹事 谷村 さゆ子



サラ幹事を皮切りに、財政幹事3期10年の長期に渡りお世話になりました。執行部に入り、視野が広がり、連盟活動は自己研鑽の場でもありました。たかが1票されど1票の重みを痛感し、キーワードを再認識

したものです。又、多くの仲間との出会いも醍醐味の一つでした。これからも応援しております。いつ迄もブレない看護連盟の益々の繁栄をご祈念申し上げます。有りがとうございました。

監事 七尾 弘美



諸先輩方のご指導の下、無事役目を果たすことができ、ほっとした思ひです。

3年間で特に印象に深いのは、就任早々の2019年、石田まさひろ議員の2期目の選挙の年に、日本看護連盟通常総会に出席させていただき、全国の会員の皆様の熱い思ひを肌で感じる事ができたことでした。「連盟とは」を実感しました。今後も皆様の活躍を応援していきたいと思ひます。

能代・山本第1支部長 赤塚 悦子



能代・山本第1支部長として2年間務めさせて頂きました。

看護連盟活動について分からないことが多く、県役員、事務局の皆様には、大変お世話になり感謝申し上げます。

コロナ禍での地区活動は、行動制限などの影響で厳しい状況でしたが、会員皆様のご協力で支部長として役割を終えることが出来ました。

ありがとうございました。

秋田・臨海第3支部長 山岡 ふき子



看護連盟活動の理解と看護政策実現に向けた活動を通じて、会長始め役員の方々、会員の皆様と活動できました事に心より感謝いたします。看護職を取り巻く環境の改善とより良い看護を実現するために、会員一人ひとりが結束する力に感動した7年間でした。今後も会員として連盟活動に取り組んでまいります。

皆様、本当にありがとうございました。

2021年度 日本看護連盟 都道府県別会議

開催日；令和4年4月18日(土) 10時00分～12時00分

会場；秋田キャッスルホテル、ハイブリッド

出席者；日本看護連盟 オンライン3名 大島会長、長沢常任幹事、尾形常任幹事
秋田県看護連盟 会場 22名 白川協会長、県役員10名、支部長6名、青年部2名、
秋大担当師長1名、事務局2名
オンライン12名 県役員2名、支部長7名、青年部3名

目的；1. 第25回参議院選挙総括から選挙運動の課題を明確化する
2. 日本看護連盟選挙方針の実践、秋田県看護連盟獲得目標数の達成

議題；1) 日看連より 参議院選挙候補予定者の動向等
2) 秋田県より 支援団体の状況、衆議院選挙の影響、国会議員・県議会議員の支援状況
3) 第26回参議院議員選挙に向けた選挙戦略
4) 意見交換

＜概要＞

第25回参議院選挙での課題を元に、第26回選挙戦略について以下項目を報告した。

- 1, 獲得目標数4,500票は会員全員が親会員になり子会員1名以上確保する。
- 2, 期日前投票で「行ける時に投票を！」
- 3, 選挙活動（はがき・ポスター貼り）は画像で周知する。
- 4, OB会員の選挙活動を学びながら協力を得る。
- 5, 看護協会との連携。
- 6, 各議員との連携。

本部からは事細かく具体的な報告、戦略であるとの評価を頂いた。（記 松村）

令和4年度 秋田県看護連盟 県役員・支部長・青年部委員研修会

開催日；令和4年6月1日(水) 13時00分～15時00分

会場；秋田キャッスルホテル、ハイブリッド

出席者；30名 会場 22名 県役員8名、支部長9名、青年部3名、事務局2名
オンライン 8名 県役員3名、支部長4名、青年部1名
欠席者 11名 県役員1名、支部長1名、青年部9名

I 報告事項

II 研修会

- 1) 「楽しく活動しよう」 講師 会長 草薨真子
- 2) 「選挙活動のイロハ～第26回参議院議員選挙戦略」 講師 幹事長 松村良子
- 3) 「選挙行動の推進に向けて～青年部委員の役割」 講師 青年部委員長 田中富三男

＜概要＞

第26回参議院選挙を1ヶ月後に控え、支部長・役員が自分の役割を認識し、各自の活動が具体的にイメージ出来ることを目的に上記研修会を開催した。

基本的な看護連盟のあり方を説明した後、「選挙のイロハ」では、はがきの書き方やポスター貼りの仕方を画像にて説明し、具体的に動けるように提示した。議員事務所への協力依頼の時期や訪問について、選挙活動についての注意事項なども周知した。

また「選挙行動の推進に向けた青年部委員の役割」として、青年部田中委員長のユーモア溢れる説得力のあるプレゼンテーションには「目からウロコ」の参加者が多かった。（記 松村）

令和4年度 秋田県看護連盟 看護管理者研修会 〔ハイブリッド〕

開催日；令和4年9月10日(土) 13時00分～15時00分

会場；秋田キャッスルホテル4F 放光の間

対象；看護管理者・役付看護職・看護教員（会員・非会員）

参加数；64名 会場参加 26名〔会員10名、非会員1名、役員15名〕

オンライン 38名〔会員33名、役員5名〕

講演；テーマ 『人生会議partⅡ～人生の最終段階における医療とケア』

講師 秋田県医師会副会長 伊藤医院院長 伊藤 伸一 先生

日程；12:30 受付

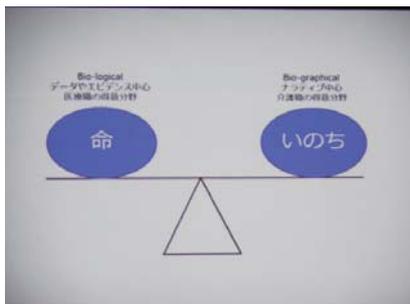
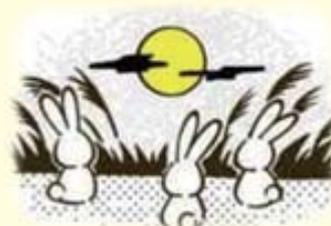
13:00 開会挨拶

13:05 講演

14:40 質疑・応答

14:55 アンケート（Web）入力

15:00 終了 閉会



【概要】

A C P (Advance Care Planning 人生会議)とは、今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者やケアに関わる人々があらかじめ話し合う自発的なプロセス。

特に人生の最終段階についての医療や介護において繰り返される対話が重要である。

大切なのは、共に考えた、悩んだ、迷った、揺れ動いた時間、対話によってその人の価値観を周囲の人や医療者が共に理解していくプロセス（過程）なのだと先生は言われた。

医療とは、その人や家族の様々な『物語』を垣間見、時には 命 だけでなく いのち を見届ける仕事である。漢字の「命」はデータやエビデンス中心の医療職の得意な分野である。ひらがなの「いのち」はナラティブ中心の介護職の得意分野である。

「死」の直前まで人は生きている。死を見届けるのではなく、最後の最後まで生き抜く「生」を支えるのが医療に関わる者の仕事である。死は点ではない、奥行きも幅もある、時間の流れの中にあるのでプロセスが大切なのだと語られた。

先生の在宅医療の実際をスライドで紹介されたが、どの患者さん家族も柔らかな落ちついた笑顔で信頼して安心して「生きている」と感じられた。納得して自分たちで決定したことで穏やかな生活が出来たのだろうと思った。人生会議を実践している先生に感激し感銘を受けた。

「人生とはあなたの全ての選択である。生き様・老い様・死に様、それも私たちの選択である」「私たちは病気にならないことを選ぶことは出来ない、しかし、その病気にどう向き合うかは選ぶことが出来る」前向きな人生のメッセージとして心に留めておこうと思った。

(記 工藤)

現場の声をお届けしました!!

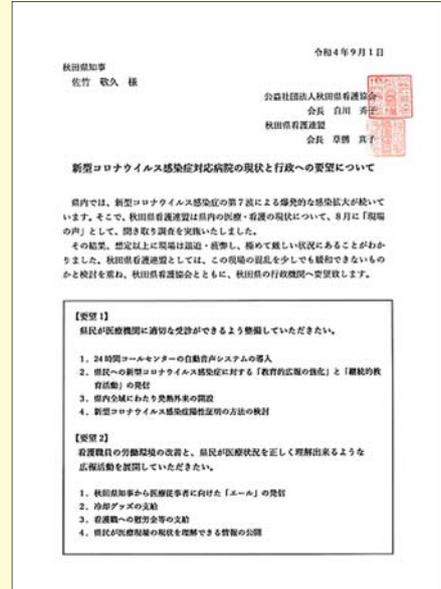
今後も皆様からのご意見・ご要望を
県政、国政に届けてまいります。



秋田県看護連盟は県内の新型コロナ感染患者が7月下旬より増加し、月末には1000名を超える事態を憂慮し、10施設の看護管理者に現場で困っていることを自由記述や電話での聞き取りで調査しました。その結果、発熱外来や救急外来受診者の中には、「症状に対する適切な助言が得られず心配で」とか、「コロナ保険」、「感染患者の自宅療養補助金」等の請求のために何度も受診するという現状がありました。また、看護職員自身の自宅待機者が増え、夜勤回数は10～14回/月、日勤の人数も休日並み、管理者も現場に助勤に出ている中、「いつまで待たせるんだ」「発熱患者は総合病院で診るのが当然」「看護師の給料上がったんだろ、嫌ならやめたら」等、かなり心が折れるような声も聞こえ、心身とも疲弊していることが分かりました。

これらのことは自施設だけでは解決できないことが多く、また、是非秋田県知事からエールが欲しいという意見もありました。そこで、これらの問題解決に向けた提案書を添えて、秋田県医師会の小泉会長にも相談に伺い、要望書を作成しました。

要望は自民党会派で組織している「秋田県の看護を守る議員連盟」に提出、要望実現のためには、秋田県知事に直接訴えるのが、最速の近道ですので、「看護連」の先生方にご尽力いただき、9月1日の知事対応での面談が可能となりました。知事からは、励ましと感謝の言葉をいただき、提案事項の一つ一つに丁寧に前向きにお返事をいただきました。例えば、24時間コールセンターの整備について現行の8回線を30回線に増やすなどです。この頂いた回答が実現されることを注視して参ります。ご意見をお寄せいただいた管理者の皆さまに感謝申し上げます。(会長 草薨)



全文は秋田県看護連盟ホームページに掲載しております。



東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策(検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等)を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 学校保健委員会
- メンタルヘルス研修
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせをお願いする事も可能です)

お気軽にお問い合わせください

0120-639601



東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所 〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

編集後記

未だ収束をみないコロナ感染症、8月の断続的な記録的大雨、そして史上最強クラスの大型で強烈な台風など気がかりな事態が次々発生しています。そんな中、7月の参院選で組織代表の「友納りお」氏が当選を果たしました。本当に唯一明るいニュースでした。今号では皆様の声を行政にお届けした記事を掲載しました。今後も連盟の活動をわかりやすく伝えて参ります。是非ホームページもご覧ください。『現場の声』お待ちしております。

記 鎌田